

味覚・嗅覚障害

明石市・永本医院 永本 浩（医師）

人間の感覚器は一般的に五感すなわち①視覚、②聴覚、③嗅覚、④味覚、⑤触覚といわれているが、①・②・⑤は物理感覚、嗅覚と味覚は化学感覚であるが、視覚や聴覚ほど重要性が高くないと思われ、視力や聴力障害の如くたとえ欠落しても身体障害者とはならない。しかし、近年の生命科学の進歩により遠隔化学感覚である嗅覚や近接化学感覚である味覚の興味深い、新しい知見が多く得られた。その一端を今回の日常診療経験交流会の場で少し解説すると同時に、新型コロナウイルス感染症の初期症状の一つに嗅覚・味覚障害を訴える症例がある点に関して言及する予定である。